



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社ヨコオ 上場取引所 東
 コード番号 6800 URL http://www.yokowo.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 横尾 健司 (TEL) 03-3916-3111
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,383	12.2	539	358.2	188	△28.7	43	△81.2
28年3月期第1四半期	9,257	16.2	117	△48.1	263	58.3	229	60.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △921百万円(-%) 28年3月期第1四半期 580百万円(322.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2.16	—
28年3月期第1四半期	11.49	11.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	28,789	17,872	62.0
28年3月期	29,448	18,950	64.3

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 17,849百万円 28年3月期 18,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	5.5	900	100.1	400	3.7	150	—	7.50
通期	42,000	5.0	1,800	70.2	1,300	58.1	800	94.0	39.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年3月期1Q	20,849,878株	28年3月期	20,849,878株
29年3月期1Q	845,244株	28年3月期	845,244株
29年3月期1Q	20,004,634株	28年3月期1Q	20,004,723株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の本資料に記載されている業績見通し等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては堅調な個人消費を中心とした内需主導による緩やかな景気拡大が続いたほか、中国経済においては下げ止まりの動きが見られ、安定的に推移しました。一方で、英国のEU離脱問題に端を発する世界的金融不安など、先行きの不透明感が強まりました。

わが国におきましては、海外経済の不透明感の高まりを背景とした円高と株安の中、輸出が伸び悩み、設備投資への慎重な姿勢が広がりました。雇用情勢の改善は続いているものの、個人消費の低迷が長期化する傾向にあり、景気の足踏み状態が続いております。

当社グループの主要市場である自動車市場、半導体検査市場、携帯端末市場におきましては、コモディティ化の進展の一方で、ADAS/自動運転やあらゆる機器がネットワークでつながる、いわゆるIoT(Internet of Things)など次世代テーマに向けた製品/技術開発競争が、新たな競合関係や合従連衡の動きとともに大きな潮流となりつつあります。

このような状況の中、当社グループは、質の高い本格的成長を期し、経営基本方針に掲げる3つのイノベーション(プロダクト/プロセス/パーソネル)の推進に引き続き取り組みました。特に、当期はプロセスイノベーションによる収益性の向上を最重要テーマと定め、当第1四半期におきましては、車載通信機器セグメントにおける中国工場からベトナム工場へのさらなる生産移管拡大やEMS(製造受託会社)の積極活用によるファブライト化を推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、車載通信機器及び無線通信機器の両セグメントが前年同期比で増収となり、103億8千3百万円(前年同期比+12.2%)となりました。営業損益につきましては、すべてのセグメントが前年同期比で増益となったことから、5億3千9百万円の利益(前年同期比+358.2%)となりました。経常損益につきましては、円高進行による為替差損3億6千7百万円の計上などにより、1億8千8百万円の利益(前年同期比△28.7%)と、前年同期比で減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常減益、海外子会社における税金費用増加などにより、4千3百万円の利益(前年同期比△81.2%)と、前年同期比で大幅な減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 車載通信機器

当セグメントの主要市場である自動車市場は、中国・アセアン・南米など新興国市場が成長鈍化ないし減少の傾向にあるものの、好景気を背景に順調な推移が続く米国市場に牽引され、緩やかに拡大を続けております。国内におきましては、軽自動車の不正データ問題を受けた販売減少が響き、販売台数は前年割れが続いております。

このような状況の中、主力製品であるマイクロアンテナ/シャークフィンアンテナをはじめとする自動車メーカー向けアンテナは、米国・アセアンを中心に海外向けの販売が伸長し、前年同期を大幅に上回りました。また、国内向けを主とする製品については、フィルムアンテナは前年同期比で微増であったものの、ETC車載アンテナはETC2.0対応需要により、前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は75億6百万円(前年同期比+16.3%)と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、ベトナム工場において、製造要員の高い定着率により大幅に習熟度向上・生産性改善が進んだことなどから、1億5千8百万円の利益(前年同期は1億1百万円の損失)となりました。

② 回路検査用コネクタ

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、パソコン向けの低迷、タブレット向けの減少や、中国市場の需要減退に伴うスマートフォン向けの成長鈍化懸念の一方で、クラウドコンピューティング向けや電子制御化が進む車載分野向けの伸長、さらにはIoTの進展に伴い、全体としては成長が継続するものと見られております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるBGAソケット等半導体後工程検査用治具の販売は積極的拡販により販売数量増となった半面、円高による減収効果により、前年同期を下回りました。一方、高周波半導体検査MEMSプローブカードを戦略製品とする半導体前工程検査用治具の販売は拡販活動により、前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は17億4千7百万円(前年同期比△0.6%)と、前年同期比でわずかに減収となりました。セグメント損益につきましては、比較的利益率の高い製品の売上比率上昇やマレーシア工場における生産性向上と原価低減活動により、3億6千7百万円の利益(前年同期比+150.7%)となりました。

③ 無線通信機器

当セグメントの主要市場は携帯端末市場及びPOS端末市場であり、携帯端末市場は、スマートフォン/タブレット端末が先進国市場における飽和と中国市場の需要減退から伸びが鈍化しております。一方のPOS端末市場は、物流/製造を始め幅広い業界での利用拡大が続いており、端末機器の多様化・高機能化とともに着実な成長が見込まれております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、携帯端末メーカー向けの販売が低迷した一方で、POS端末メーカー向けに加えて車載向けが順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

当セグメントに含めておりますメディカル・デバイス事業につきましても、海外大手顧客向け販売の本格再開などにより、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は11億2千9百万円（前年同期比+8.1%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、比較的利益率の高い製品の比率上昇や原価低減活動などにより、6千7百万円の利益（前年同期は2百万円の利益）となりました。

(事業セグメント別連結売上高)

(単位：百万円、%)

	前第1四半期 自平成27年4月 至平成27年6月	前四半期 自平成28年1月 至平成28年3月	当第1四半期 自平成28年4月 至平成28年6月	前年同期比	前四半期比
	売上高	売上高	売上高	増減率	増減率
車載通信機器	6,454	7,867	7,506	+16.3	△4.6
回路検査用コネクタ	1,758	1,599	1,747	△0.6	+9.2
無線通信機器	1,045	1,081	1,129	+8.1	+4.5
合計	9,257	10,548	10,383	+12.2	△1.6

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、現金及び預金増加4億5千5百万円の一方、売上債権減少3億1千2百万円、有形固定資産減少3億4千2百万円などにより、287億8千9百万円（前連結会計年度末比6億5千9百万円の減少）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、仕入債務増加1億7千3百万円などにより、109億1千6百万円（前連結会計年度末比4億1千8百万円の増加）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益4千3百万円の計上、その他有価証券評価差額金減少1億8百万円、為替換算調整勘定減少8億6千6百万円、配当金の支払1億6千万円などにより、178億7千2百万円（前連結会計年度末比10億7千8百万円の減少）となりました。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は62.0%（前連結会計年度末比△2.3ポイント）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、回路検査用コネクタセグメントの大幅増益などにより、当初業績予想(平成28年5月13日公表)の想定を上回る進捗となったことから、今後の受注見通しや為替相場動向なども踏まえ、第2四半期連結累計期間・通期の業績予想を下表の通り修正することといたします。

第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(単位:百万円、%)

	当初予想 (平成28年5月13日公表)	修正予想	増減	増減率
売上高	20,000	20,500	+500	+2.5
営業利益	700	900	+200	+28.6
経常利益	500	400	△100	△20.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	300	150	△150	△50.0

通期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:百万円、%)

	当初予想 (平成28年5月13日公表)	修正予想	増減	増減率
売上高	42,000	42,000	—	—
営業利益	1,500	1,800	+300	+20.0
経常利益	1,300	1,300	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	800	800	—	—

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,055,232	4,510,676
受取手形及び売掛金	8,440,986	8,128,064
商品及び製品	3,146,908	3,018,333
仕掛品	313,234	344,221
原材料及び貯蔵品	1,924,801	1,755,503
その他	1,301,429	1,326,874
貸倒引当金	△15,764	△14,376
流動資産合計	19,166,828	19,069,297
固定資産		
有形固定資産	7,427,106	7,084,153
無形固定資産		
その他	721,441	694,718
無形固定資産合計	721,441	694,718
投資その他の資産	2,133,082	1,940,940
固定資産合計	10,281,630	9,719,813
資産合計	29,448,459	28,789,110
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,925,944	4,099,529
短期借入金	1,509,912	1,378,994
未払法人税等	65,983	91,418
賞与引当金	384,034	201,861
その他	2,025,577	2,638,599
流動負債合計	7,911,451	8,410,402
固定負債		
長期借入金	1,600,000	1,600,000
製品保証引当金	103,681	82,764
退職給付に係る負債	301,239	289,520
その他	581,273	533,792
固定負債合計	2,586,193	2,506,076
負債合計	10,497,645	10,916,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	10,602,677	10,485,898
自己株式	△991,475	△991,475
株主資本合計	17,589,400	17,472,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	201,384	92,798
為替換算調整勘定	819,060	△46,977
退職給付に係る調整累計額	320,525	330,625
その他の包括利益累計額合計	1,340,969	376,446
新株予約権	20,444	23,564
純資産合計	18,950,814	17,872,631
負債純資産合計	29,448,459	28,789,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	9,257,757	10,383,224
売上原価	7,690,003	8,332,081
売上総利益	1,567,753	2,051,142
販売費及び一般管理費	1,450,107	1,512,036
営業利益	117,645	539,105
営業外収益		
受取利息	1,562	1,390
受取配当金	19,564	14,793
為替差益	134,766	—
その他	17,187	17,135
営業外収益合計	173,080	33,318
営業外費用		
支払利息	7,656	11,383
為替差損	—	367,336
保険解約損	12,303	—
その他	6,809	5,564
営業外費用合計	26,769	384,285
経常利益	263,956	188,138
特別利益		
固定資産売却益	1,733	295
特別利益合計	1,733	295
特別損失		
固定資産売却損	—	417
固定資産除却損	2,838	4,513
製品保証引当金繰入額	—	9,368
特別損失合計	2,838	14,298
税金等調整前四半期純利益	262,851	174,135
法人税、住民税及び事業税	28,464	128,871
法人税等調整額	4,523	2,005
法人税等合計	32,988	130,877
四半期純利益	229,863	43,258
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,863	43,258

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	229,863	43,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192,167	△108,585
為替換算調整勘定	152,908	△866,037
退職給付に係る調整額	5,316	10,099
その他の包括利益合計	350,393	△964,523
四半期包括利益	580,256	△921,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	580,256	△921,265
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,454,014	1,758,127	1,045,615	9,257,757	—	9,257,757
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	34,956	—	34,956	△34,956	—
計	6,454,014	1,793,083	1,045,615	9,292,713	△34,956	9,257,757
セグメント利益又は損失(△)	△101,053	146,484	2,958	48,389	69,256	117,645

(注) セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	48,389
たな卸資産未実現利益調整額	28,775
たな卸資産評価減調整額	12,230
その他調整額	28,251
四半期連結損益計算書の営業利益	117,645

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,506,102	1,747,318	1,129,803	10,383,224	—	10,383,224
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23,711	—	23,711	△23,711	—
計	7,506,102	1,771,029	1,129,803	10,406,935	△23,711	10,383,224
セグメント利益	158,089	367,230	67,655	592,975	△53,870	539,105

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	592,975
たな卸資産未実現利益調整額	△23,966
たな卸資産評価減調整額	16,541
その他調整額	△46,445
四半期連結損益計算書の営業利益	539,105